場所　大分県国東市

面積　2.36ha



活動目的

工場設置時より残存している海岸沿いの森林地帯は貴重な自然遺産であり、地元企業としてこれら自然遺産を維持・管理する義務。

地域や社員の環境コミュニケーションの場であり、小学生の遠足などレクリエーションの場として、地域の生物多様性保全に貢献する

サイト概要

1984年に風光明媚土地に工場設立にあたり、森、海といった自然環境との調和を意識した緑地整備を実施しております。緑地の一部は「ソニー潮の香公園」として地域の方々に完全開放しており、小学生の遠足の場所などレクリエーションの場として活用されております。また構内の雑木林には遊歩道も設けられ、社員の健康増進に貢献しております。構内動植物調査により絶滅危惧種を確認し、地域の生物多様性へも貢献しております。この森林エリアについては、社内のセキュリティゲートを通らないと入れないようになっており、また森林外部も柵で区分けしており、一般の方が森林に迷い込まないような対策を実施しています。

土地利用の変遷

1984年に弊社工場が設立しました。1998年の社員による植樹をはじめとしてに憩いの森、ソニー潮の香公園の設置など緑地整備活動が実施され、緑と工場の共生を実現した運営を行っております。

サイト周辺の環境

国東サテライトの森林の周りにも森林が広がり、隣接する黒津崎海岸はアカウミガメの産卵、孵化が確認されている海岸となっております。

アピールポイント

環境省や県の絶滅危惧種が生育する豊かな自然環境を維持しているとともに、他県では準絶滅危惧種に指定されておりますアカテガニが生息しています。また樹齢100年を超えるタブの木もあり、荘厳な雰囲気の森林を維持しております。サイト内のソニー潮の香公園では車いすの方も利用できるようテーブルや多目的トイレを完備し、小学生の遠足などに利用され地域の方の憩いの場となっております。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

森林環境が日々管理しており、タブノキなど在来種も多く、海岸沿いの残存林である。

森には鳥類や野草など多種多様な生態系および生態ピラミッドを維持している。

絶滅危惧種も生育している。

森林と海岸に面した特徴的な自然環境であり、生態系のつながりを示すアカテガニが生息している。

【主な植生】

主な植生はタブノキ、ヒノキ、杉など高木やフデリンドウやアジサイなどの野草である。

【確認された主な動植物など】

下記のような動植物が確認されている

・ハグロトンボ（学名：*Calopteryx strata*、成体）
・アカテガニ（学名：*Chiromantes haematocheir*、成体）
・タブ（学名：*Machilus thunbergii*）
・ヤブツバキ（学名：*Camellia japonica*）
・シュロ（学名：*Trachycarpus*）
・センダン（学名：*Melia azedarach*）

など



写真の説明：サイト内で確認されたタブ

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

ソニー潮の香公園には地域にとっての憩いの場となるように完全開放しており
車いすのまま利用できるテーブルや多目的トイレを完備しており、
散歩コースや小学生の遠足で利用されている。
また構内の花壇も季節ごとの花を植栽し整備している。

【主な植生】

主な植生はツバキ、ネモフィラなどがある。

【確認された主な動植物など】

下記のような動植物が確認されている
・アオスジアゲハ（学名：*Graphium sarpedon*、成体）
・ツチイナゴ（学名：*Patanga japonica*、成体）
・セキレイ（学名：*Motacilla*）
・ツグミ（学名：*Turdus eunomus*）
・メジロ（学名：*Zosterops japonicus*）
など



写真の説明：サイト内の花壇



写真の説明：サイト内の公園（芝生の整備後）

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

　弊社保有の森林は土壌も豊かで、水の貯留および浄化機能も果たしており、水生生物の生育にも貢献しています。また自然光も十分降りそそぐ環境のため多種多様な野草が生育しております。

【確認された希少種】

　2022年～2024年3月に実施した構内動植物調査において、希少種が確認されている。

希少種の生息域は社内の森林エリアのため、外部から侵入できない管理されたエリアとなっております。
また社員には希少種の開花情報やその生息域は環境会議や社内の環境掲示板で公開されており、社員および工場で働く方はどなたでも観察できるようになっています。希少種以外の動植物についても構内動植物観察の結果を公開しており、生物多様性維持に努めています。

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
【活動目的】 工場設置時より残存している海岸沿いの森林地帯は貴重な自然遺産であり、地域に根ざす企業として保有している自然遺産を維持・管理する義務がある。 地域や社員の環境コミュニケーションの場であり、小学生の遠足などレクリエーションの場として、地域の生物多様性保全に貢献すること。 【活動内容】 森林、公園、花壇に分けて活動を実施している。 ①森林 ・高木：毎年現地調査を行い、危険リスクに応じて木々の剪定を実施する。 ・低木：時期を決めて剪定を実施している ・日々管理：倒木や枝集めを実施している ・土壌改質：回収した木々のチッピングを実施し、土壌に散布する。 ②公園 協力会社の日々の管理により、状況に応じて草刈りなどを実施している イベントで使われる前に、社員により事前現地確認および修繕箇所の確認を実施する。 ③花壇 年間を通じて地元の協力会社により定期的に植栽を実施する。	**【モニタリング対象】** 構内の動植物観察 木々の本数確認 植栽した木々の生育調査 **【モニタリング場所】** 構内全域 **【モニタリング手法】** 動植物観察：現場踏査＆写真撮影、目視確認 木々の本数確認：植樹や倒木数のカウント 生育調査：メジャーにて高さの測定 **【モニタリングの実施時期及び頻度】** 動植物観察：現場踏査（年3回以上）、目視確認（協力会社による日々管理） 木々の本数確認：協力会社による日々管理 など。 **【モニタリング実施体制】** 現場踏査：環境課を中心とした国東サテライトの従業員 日々管理：協力会社員 生育調査：協力会社員＆環境課 ＊専門家によるモニタリングについて検討中